

2022 年秋学期/スノー大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

レベルは1~4に分かれていて、テストを受けて振り分けられる。英語を話すために先生が4, 5人のグループに分けて会話しやすくしてくれた。基本はグループの活動がメインだ。クラスメイトと話すことが重要である。なので、しっかりと授業を理解して、自分の意見を持つべきである。レベルが上がると宿題の量が少なくなるが、その分一つ一つにかける時間がとてもかかる。しかし、授業が終わってすぐやれば睡眠時間は十分にとれるし、土日もある程度休める。

4つのレベルに成績順で生徒が分けられます。リスニング、リーディング、会話、アメリカンカルチャー、コンポジション、文法の6つの授業があります。

授業はグループワークが多かったり、発表の機会が日本よりも多いと感じました。課題がとても多く毎日課題詰でした。

リスニング、リーディング、ライティング、文法、カンパセーションなどがあり、50分の授業から90分の授業があった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

15人もいないくらい、日本人3人、その他の国の留学生7人(エクアドル、コロンビア、メキシコ、アルゼンチン)

人数は10~15人程度で比較的ラテン系が多かったです。

1クラス20人くらいです。6割がスペイン語を第一言語に話す人、3割日本人、1割韓国人でした。

クラスの人数はレベルによって結構変わるが、私のクラスは多いときは20人くらいいた。国籍は南アメリカの人が多く、次に日本人が多かった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

クラスの雰囲気は楽しく、基本グループワークがメインである。一つのことにディスカッションすることが多い。もちろん先生の話や先生の話を聞くときもあるが基本的に先生は生徒助けが欲しいときやあまり会話がないときに話すことが多い。

とても明るくて質問もしやすい環境でした。

集中していないと追いつけなくなり、日本のように先生だけが話すようなものではなく学生の主体的な授業参加が当たり前でした。

日本の授業に比べると、生徒の発言数が圧倒的に多い。先生も生徒によく当てるため必ず全員が授業で喋らないといけない。ESLのクラスだからというのがあるが、全員で楽しく進めていた。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

移民や犯罪率について

アメリカンヒストリーの授業で第二次世界大戦のトピックで日本がアメリカを攻撃したという話の時はヒヤヒヤしました。

アメリカンカルチャーの授業でネイティブアメリカンの人が実際に住んでいる家に行って話を聞きに行ったこと。

アメリカの歴史。日本では学ばない戦争中のアメリカ側の意見を聞くことができ、聞いていて面白かった。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

努力していたことは、大体宿題が次の授業の内容だったので、しっかりと宿題を理解することを心掛けていた。また、日本人だけで、宿題を一緒にやるのではなくほかのクラスメイトとやることで、宿題も早く終わることができるし、たくさん英語を話すことができる。

なるべく日本人じゃなく海外の人といるようにしたことです。

まず先生が言っていることを理解して分からなければ積極的に質問していました。

わからない単語はメモするかすぐその時に調べるようにしていた。わからないところがあったら授業後に先生のオフィスに行き質問するようにしていた。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
1人 (1人)	アメリカ
5人以上 (3人)	ホンジュラスやエクアドルなどスペイン語を第一言語にする人たち 中国人1人
	エクアドル、アメリカ、フランス、日本

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩(4人)	0~15分(4人)	大学内のカフェテリア(4人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
机、椅子、ベッド、引き出し 共同スペースに冷蔵庫、電子レンジ	日用品、食料
机、ベッド、服掛け、収納スペース	フライパン、お皿、コップ
机、ベッド、冷蔵庫	食器、寝具、洗剤
机、ベット、タンス、	料金を払ったら寮から用意してもらえるベッドのシーツ・布団・枕、毛布、 バスタオル、ドライヤー、シャンプー類、ハンガー、洗剤、洗濯ネット、勉強 用のライト

寮生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
ルームメイトが寝るのが早かったり生活習慣の違いに驚いた。また、共同スペースのシンクや冷蔵庫が汚くなりがちで困った。
日本人は毎日お風呂に入るが他のルームメイトは毎日はいらない。
ルームメイトと生活時間が合わない。共有スペースの使い方が汚かった。

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。
ルームメイトとしっかり話す。
わからないことはなんでもルームメイトに聞くこと、ルームメイトと部屋のルールを決めること
不満があれば正直に伝えないと分かってくれないので正直にいうべき。
誰も掃除をしてくれなかったりするのだからはじめゴミ出しや掃除当番を決めておくこと良い。キッチンがないと思っていたが共同で使えるキッチンがあるので海外食に困りそうな人はそこで料理ができる。私はミールプランを週12回のものにしていたが、自分で料理ができたので週7回のプランでも充分だと思う。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい(4人)	日本からSIMカードを持参(2人)	ワイヤレスで可能(3人)	はい(1人)
いいえ(0人)	留学先でSIMカードを購入(1人)	LANケーブルで可能(1人)	いいえ(3人)
	日本からポケットWi-Fiを持参(1人)		

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
アメリカの大学は定期的にイベントが開催されるので積極的に参加した。	図書館で勉強、寮のスタディールームで課題、一番よく利用したのは歩いて30分ほどのウォールマート
スポーツの試合を見に行ったり、ジムで筋トレしたり、パーティーに行きました。	ボーリング場とウォールマート、ピザ屋、ジム。
車を持っている人に街の外に連れていってもらったり、学校のイベントに参加した	メキシカン料理の店(ナチョスの店)や古着屋さんによく行きました。
よく、クラブの試合があったので休みの日は応援しに行った。公共交通機関がないので、都会に行く機会があまりない。また、大学がパーティーなどを主催していた。	ウォールマート、ボーリング、大学の施設、アイスクリーム屋さん、タピオカなどを主に利用した。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
入寮のための申請登録、できる限りの勉強
現地の情報などを得たり、ルームメイトとインスタで電話したりしました。
英語を勉強し直す
リスニング。単語

留学前にしておけばよかったと思う準備
話す練習
もっと単語を覚えていけばよかった
勉強
もっとリスニング力をのばす勉強が必要だったと感じる

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本のお菓子
お茶、味噌汁、箸、マグネットなど
ご飯のバック、緑茶、日本のお菓子、お箸。海外の人はお箸は喜ぶと思います。
日本のお菓子、折り紙

日本から持っていく必要のなかったもの
マスク
変圧器
バスタオル(かさばるし、向こうで買える)

日本から持参すればよかったと思ったもの
文房具(0.3のシャー芯が売ってなかった)

延長コード
消しゴムは消しにくいので予備は多めに持っていく。0.3 のシャーペンの芯はないので使う人は注意
日本食、冬服

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカード 1枚。デビットカード 1枚。現金	現金約7万。クレジットカード 上限 10万。銀行には約50万入っていた
クレジットカードとプリペイドカードと現金	クレジットは80万円、現金4万円
クレジットカードを3枚、現金は500ドル程度	特にクレジットカードの上限はなかったです
クレジットカード2枚、現金	クレジットカード(40万と上限10万のもの)、現金(6万)

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
寮費約35万、食費月約3万	どちらもなし
ミールプランが月に1099ドルで寮費が975ドルでした。	なかったです。
寮費とカフェテリアの支払いに約2300ドル	テキストは買わなくてよかった。通学は寮がキャンパスの前にあるので徒歩で2・3分しかかからない。

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など
大学のオフィスの人をお願いして車を出してもらった。また、友達にもお願いした。
サンクスギビングに日本人みんなでロスに旅行に行きました。
ロサンゼルス2泊3日。飛行機で行って、費用は買い物なども含めて余裕で1000ドルは超えました。
サンクスギビングに3泊4日の旅行をした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。
1か月に2~3万程使っていた
50万円ほどです。ロサンゼルスに行くための費用やホテル代が高かったです。
僕は買い物が好きなのであまり何ドル使ったか覚えていません。
旅行は10万以上

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
行く前より、英語を聞き取れるようになりました。
全てにおいて能力は確実に上がった。特にスピーキングとリスニングは上がったと感じる。
全てにおいてとても向上したと感じます。
留学を通してリスニング力は上がったと感じるが、会話のときにすぐ単語が出てこなかったりする部分はまだまだ足りないと感じる

留学前の目標とその達成度

目標はクラスを全て90%以上でパスすることだったのでその点は達成できたが、もっとネイティブに近づけるコミュニケーション力を身につけたい

ESL のレベル3、4を全て合格したので満足です。

少しでも話せるようになるように思っていたのですが、毎日友だちと英語を話したりしているとだいたいの英語は聞き取れるようになりました。

友達や先生と日常会話レベルまでもっていきかけたが6、7割は話せるようになったと思う。

留学を通しての成長ポイント

コミュニケーション能力。自分の英語力が低いと思わずに、恥ずかしからずにかくさん話すことができた。

人見知りで自分から話しかけることができませんでしたが、アメリカに行ってから自分から店員さんに話しかけたり、学校の人に話しかけられるようになりました。

語学力、自律、考えや世界の広さ、日本では英語力は伸びづらいという認識

主にリスニング力

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は不安の方が大きかったが、留学が終わりを迎えるにつれてこの4ヶ月で学んだことを日本に帰ってから後も続けたいと思うようになった

やる気がなかったのが今ではもっと英語を現地で学びたいと感じている

元々言語は好きでしたが、留学に行ってから更に興味がわいて、英語以外の言語も日本に帰ってから勉強しています。

留学前は低かったが留学中は友達と話せるようになりたかったから徐々に高くなった。また留学後はもう一度行きたく、英語力をもっと伸ばしたい。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

1500字のレポート

英語でプレゼンテーションをするとき、相手に伝わりやすいように発音を何回も練習しました。

最終課題がレポートなどで時間がない中やりきりました。

英語の本を一冊読み、内容を理解し、先生の質問に一对一で答えるというテストで、緊張したが20分間自分の言葉で質問に答えられたこと

留学先大学の良かった点

親身になってくれる先生が多い。治安、友達、景色

寮の中は夏は涼しく、冬は暖かいのでどちらも半袖でも過ごすことができました。

英語に自信がなくても積極的に間違いを恐れず会話するべき。いい人が多いので全然心配ないです。

寮やクラス的环境も良かったし、周りの人も優しい人ばかりで勉強に集中ができた